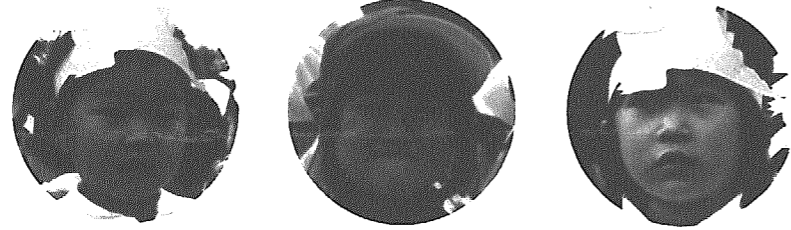


岩室ネットワーク

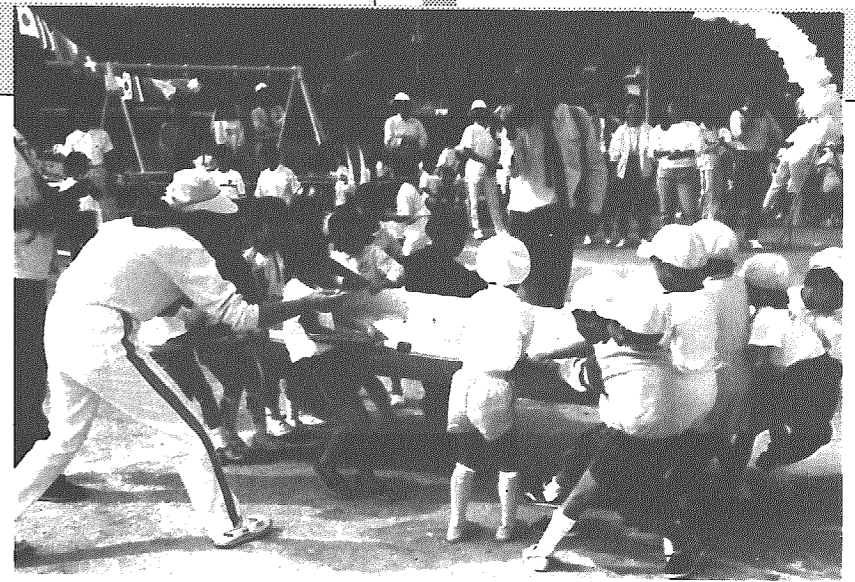
■この広報紙にあなたが写って
いましたら、総務課企画係 ☎82
-4111内線 215)へご連絡くださ
い。写真をさしあげます。

いい顔、ありがとう

保育園の運動会から (10月9日)



「それっ/みんな力を出して」——と綱引き
ならぬ保育園のマット引き競争。先月九日、秋
晴れの絶好のコンディションの中で開かれた保
育園の運動会は大にぎわい。なにをやるにも笑
いと感激を誘う子供たちの姿に親ならずともニ
ッコリ……。この日は村内四保育園で一斉に運
動会が行われ、各地で歓声が響いていました。



とにかく楽しい運動会

こめひと

No. 13

石川利衛さん (和納7区)

今月の「この人」は、この秋の全国交通安全運動中に全日本交通安全協会から、長年にわたる交通安全運動の推進功労者として「緑十字銅章」を受けられた石川利衛さん(和納七区・58歳)です。

この緑十字銅章は、長年にわたる交通安全の推進に功労のあった人を表彰するもので、石川さんは昭和三十九年四月から昨年の三月までの二十三年間、交通安全協会和納支部の役員として交通事故防止のため協会活動につくしたことが認められ今回表彰を受けました。

「この二十三年間、交通安全推進のため微力ながらお手伝いをしてきましたが、わたしが役員になった当時と比べると、いまは交通事情が大きく変わりましたね。わたしは、昭和三十五年に運転免許を取得したのですが、そのころは車の台数も極端に少なく、三輪自動車全盛の時代でした。道路もいまと比べると舗装などがされていないため走りにくかったね。だから、運転にはいまと違った注意が必要だったよ。でも車の台数自体が少なかったせいも、交通事故も少なかったようだね」と当時の交通事情を語る石川さん。

石川さんが免許を取得し車を購入したのは昭和三十六年といいますが、いまから二十七年前。そのころ、車というと商工業関係の人を除くと一般にはあまり普及しておらず、大変貴重なものだったといえます。

「でも、わたしが交通安全協会に加入(昭和三十九年)したころから急速に車が普及し台数が急増しましたね。そして、道路などの整備が進むにつれて交通問題も比例して多くなってきたような気がするね」と感想を話す石川さん。

ところで、石川さんが加入していた交通安全協会和納支部というところ、いまも活発に活動を続けていますが、そのころから街頭指導をはじめ、道路の整備、講習会、遠乗会など交通安全推進のため多様な活動を行っていたといえます。

「当時は、よく街頭指導や交通整理に



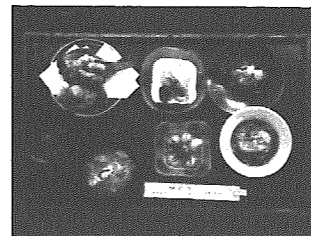
ただひたすら交通事故防止を願って二十三年。交通安全は一人ひとりの心構えから生まれるものという石川利衛さんを追って

ましたね。とくに夏の海水浴シーズンには間瀬まで交通整理の応援にいたりして、でも汗だくで交通整理をした後、海へ入れると思うと暑さも苦になりませんでしたね。これがまた楽しみの一つでもありました」と活動の様子を話す石川さん。また、講習会や遠乗会を計画すると地区内から大勢の人たちが集まり、交通安全のPRに十分効果があつたのもこのころといえます。

さて、石川さんは免許を取得して二十八年。もちろん無事故・無違反で優良運転者表彰もうけられています。

「交通安全協会の役員をしていたせいもありますが、まず第一に交通事故防止に関心を持つこと、事故の恐ろしさを十分認識することが大切だね。そして運転するときは基本を忠実に守ることこれが一番ではないかな」と安全運転に対する心構えを話す石川さん。「いまは道路も安全施設も十分に整備されています。あとは運転者一人ひとりの安全運転に対する心構えが肝要だね」と交通安全は、人ごとと思わず自分自身が気をつけることが大切、といまなお情熱がうかがえる石川利衛さん。

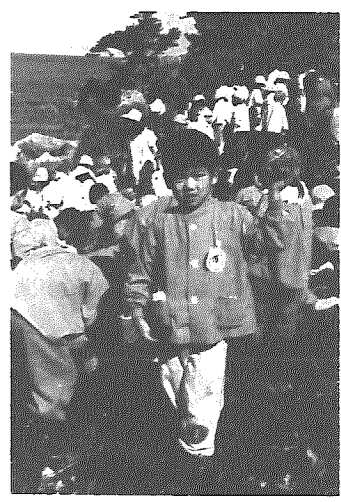
全国表彰本当におめでとうございました。



「岩室の新しい味はこれで決まり」——と先月三日、老人憩いの家「静閑荘」で村調理師会主催の「新郷土料理発表会」が開かれました。これは「観光岩室の名物になる料理を」と調理師会が研究。このほど「これは」という試作品ができあがり、その発表試食会が行われたもの。この日は十五品の試作品の中から特に選んだ「鮭の越後蒸し」「甚句カレイのカミナリ揚げ」「カニツペ汁」の三品が発表され、村長や村議など約五十人が新しい岩室の味を味わいました。

「岩室の新しい味はこれで決まり」——と先月三日、老人憩いの家「静閑荘」で村調理師会主催の「新郷土料理発表会」が開かれました。これは「観光岩室の名物になる料理を」と調理師会が研究。このほど「これは」という試作品ができあがり、その発表試食会が行われたもの。この日は十五品の試作品の中から特に選んだ「鮭の越後蒸し」「甚句カレイのカミナリ揚げ」「カニツペ汁」の三品が発表され、村長や村議など約五十人が新しい岩室の味を味わいました。

続いても保育園の話ですが、先月十九日、自然休養村事業の間瀬掘り取りもぎ取り園で村内四保育園の年長児(五歳児)が、秋の味覚——さつまいも掘りを楽しみました。眼下に日本海を見るさつまいも畑に入った園児たち、大喜びついでに力あまって下へころげ落ちるアワテン坊もいて、とにかくにぎやかにさつまいも掘りを楽しみました。



ことしもとれたぞ! サツマイモ

一方、こちら間瀬小学校でも先月19日、5月に植えたさつまいもの収穫を行いました。各学年ごとに育てたいもは、八百屋さんの店頭と並ぶような立派なものばかり。ことしの畑は昨年大収穫をした畑とは、違っていたものの総収量は75キログラムとこちらも立派な成果でした。



ハシゴ車を使って消防演習



「緊急出動」——秋の火災予防運動を前に先月四日、岩室温泉街のホテルで火災を想定した消防演習が行われました。演習ではホテルの屋上にとり残された人をハシゴ車で救出するなど、万が一に備えた真剣な訓練が行われました。